

(別記様式第3号)

## 普及活動検討会実施報告書

亙理農業改良普及センター

実施月日：令和3年8月27日

実施場所：亙理農業改良普及センター会議室

### 1 検討内容

No	検討項目
1	令和3年度普及指導計画について
2	プロジェクト課題の取組状況について ①プロジェクト課題実施状況報告(継続課題 No1~No3) ②R3新規プロジェクト課題実施状況(検討課題) 新たな取組の定着による持続可能なカーネーション産地の実現 (プロジェクト課題 No4)

### 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	3	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	1

### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
令和3年度普及指導計画について	4.6	<ul style="list-style-type: none"><li>・国の指針及び県の基本計画等に添った指導計画となっており, 具体的で, 明確な取組を行っている。</li><li>・農業経営に直結した課題となっており, 取組を行っている者とも良好な連携がとれており, 大きく評価できる。</li><li>・にこにこベリーの品質確保について, 適切な情報提供をいただいていることに感謝します。</li><li>・規模拡大やAIの導入など, どの生産者にも必要な指導・情報であり, 今後地域の生産者に情報を公開したり, 伴走支援の手が離れても自走可能な仕組み作りを続けていただきたいです。また生産物, 商品の出口についても引き続き支援が必要かと感じました。</li><li>・最終年の課題が多いが, No1課題の新品目育成等は今後も支援が必要と思います。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域課題の把握に努めながら, 課題設定にあたっては, 今後も関係機関や農業者等の支援ニーズを把握し, 地域連絡調整会議等において関係者の合意を得ながら進めてまいります。</li></ul>
検討課題	4.4	<ul style="list-style-type: none"><li>・カーネーションに着目し, 課題に選定した点は大きく</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・いただいた評価を参考に, 環境に配慮した持続可能なカ</li></ul>

<p>(プロ課題N04)について</p>	<p>評価できる。また、新たな技術や表示方法の導入が、ブランド化への期待ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地表示の取組の他の花への波及に期待します。</li> <li>・新たな生産技術はSDGsに当てはまる手法と考えられるので、PR的な面も含めて、産地と共に表示した方が良いと考えられる。</li> <li>・一定程度、産地は形成されていると思われるので、明確な差別化・ブランディングが必要だと思いました。また、母の日の需要があるのは分かるのですが、今後、他の花に取って代わられないように、商品提案が必要だと思いました。</li> <li>・東北最大級の産地と称されるカーネーション産地にも、高齢化等の農業課題が生じてきています。</li> </ul> <p>課題解決としての目標設定、支援活動による成果を導き出せるよう、支援活動を期待します。</p>	<p>カーネーション産地の実現に向け活動を展開していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地表示の定着、ブランド力の向上についても関係機関や生産者とともに進めてまいります。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな技術の導入には、農業者の信頼を得て、良好な関係を構築しており、大きく評価できる。</li> </ul> <p>また、新たな技術が農業経営面でどの様な改善に繋がるのかの点からも評価する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも普及センターの皆さんには農家に寄り添い支援いただき感謝しております。これからも地域の農家の力になっていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いただいた評価を参考とし、活動成果があがるよう、関係機関との情報共有や役割分担を図りながら、効率的・効果的な普及活動を展開してまいります。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大防止と普及活動の展開を両立しながら取り組んでまいります。</li> </ul>